

科目名	生活習慣看護学特論 Theories of Lifestyle Nursing		担当教員 (研究室番号)	永見 桂子 (102) 竹本 三重子 (303) 木戸 芳史 (402)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 前期	科目 区分	支持科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
											遠隔授業	否
科目目的	人々の健康事象や健康問題を生活関連要因や保健行動などと関連させて包括的に理解し、健康生活を維持するための医療的介入・セラピーに関する理論や専門的な援助方法について論述する。											
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>生活習慣と健康に関する重要な概念を理解することができる。</li> <li>生活習慣とQOLについて理解を深めることができる。</li> <li>生活習慣・文化と健康および看護に関する理解を深めることができる。</li> <li>生活習慣とこころのあり方および看護に関する理解を深めることができる。</li> </ol>											
成績評価方法 (基準)	レポート(50%)、プレゼンテーション(40%)、討議への参加状況(10%)											
教科書	なし											
参考書等	必要時紹介する。											
受講者への メッセージ	探究する姿勢で主体的に学習することを期待します。											
備考												
回	学習項目			学習内容					主担当 教員	授業 方法		
1回	生活習慣と健康に関する重要概念の理解①			ライフサイクル各期の健康事象や健康問題を、生活習慣、ソーシャルサポート、保健行動と関連づけながら、家庭内外の支援者・関連機関を包括した総合的・連続的な生活モデルを重視した支援について理解を深める。さらに、保健行動に関する理論を用い、ライフサイクル各期における人々の生活習慣変容への援助について考察する。					永見	講義		
2回	生活習慣と健康に関する重要概念の理解②			1) 生活習慣とは ・生活の概念 ・生活を看護の視点で見る					永見	講義		
3回	生活習慣と健康に関する重要概念の理解③			2) ソーシャルサポートの概念 ・ソーシャルサポートと健康・看護 ・家族に関する理論					永見	講義		
4回	生活習慣と健康に関する重要概念の理解④			3) 保健行動の概念 ・分類 ・実行に関する因子 ・保健行動モデル					永見	講義		
5回	生活習慣と健康に関する重要概念の理解⑤			4) 生活習慣とQOLの理解 ・QOLの健康への影響 ・心身相関に関する理論					永見	講義		
6回	生活習慣・文化と健康および看護援助①			ライフイベントにおける文化と健康、暮らしの中の誕生から死後までの行事と健康、食文化と健康、病気と文化について理解を深め、ライフサイクル各期における人々の健康問題と援助について考察する。					竹本	講義		
7回	生活習慣・文化と健康および看護援助②			1) 文化・QOL・健康とは 2) 生活する場と文化と健康の関連					竹本	講義		
8回	生活習慣・文化と健康および看護援助③			3) 文化・生活習慣と病気					竹本	講義		
9回	生活習慣・文化と健康および看護援助④			4) 文化・生活習慣と援助との関連					竹本	講義		
10回	生活習慣・文化と健康および看護援助⑤			5) 社会と健康生活					竹本	講義		
11回	生活習慣とこころのあり方①			学習項目に関する文献抄読を通して、人間の経験と脳内現象、現実と仮想の関係、身体感覚と主観的体験、他者との出会いなどについて理解を深める。さらに、毎日の暮らしとこころの関連性、精神を病むということ、ストレスコーピングに関する概念的理解を深め、ライフサイクル各期における人々のストレスマネジメントについて考察する。					木戸	講義		
12回	生活習慣とこころのあり方②			1) ストレスコーピングの概念、脆弱性—ストレス—対処モデル 2) 認知・行動に関する理論					木戸	講義		
13回	生活習慣とこころのあり方③			3) 文化・生活習慣と援助の関係					木戸	講義		
14回	生活習慣とこころのあり方④			4) こころの健康とセルフケア					木戸	講義		
15回	生活習慣とこころのあり方⑤			5) リラクゼーション法、自律訓練法、漸進的筋弛緩法の理論					木戸	講義		